

退職者 NO.143

こだま会報



発行日：2024年2月15日／季刊第143号
 編集・発行：神奈川県職労連退職者こだま会
 〒231-8588 横浜市中区日本大通1県庁地下1階
 発行人：加瀬文隆
 ☎045 (212) 3179 (代) Fax 045 (212) 3178 (代)
 Eメール kodama@kodamakai.sakura.ne.jp
 URL http://kodamakai.sakura.tv/

「神奈川自治労連ふれあい手づくり文化祭」 笑顔溢れる4年ぶりの開催

菊田 勲



4階のホールは演芸会場。歌、チェロの演奏、日本舞踊、フラダンス、朗読、着付けなど自慢の芸がお披露目され、楽

自慢の芸をお披露目

3階の展示場にはたくさん作品が並べられ目を楽しませてくれました。こだま会からも水彩画、版画、写真、絵手紙、ワイヤーアート、俳句、川柳と多くの作品が展示され、会場を盛り立て、まさに多士済々と感心したところです。

会場を盛り立てた作品の数々

秋晴れの10月28日、横浜市従業員労働組合会館において、神奈川県自治労連退職者会の「ふれあい手づくり文化祭」が4年ぶりに開催されました。この文化祭を毎年楽しみにしていた方々が多く、待ちくたびたのでしよう、参加者の皆さんの顔が嬉々としていました。



チェロを演奏する瀧本哲彦さん(上)
 会場を盛り立てた作品の数々(下)

「また来年もお会いしましょう」との声に送られて散会しましたが、楽しい一日をありがとうございました。

特に、プログラム外の飛び込みで、私もカラオケを歌わせてもらいました。十数年ぶりのカラオケとあって、画面の歌詞の流れに合わず四苦八苦しましたが、どうやら歌えて楽しい思いをいたしました。

飛び込みでカラオケ

多彩な芸を十分に味わい楽しませていただきました。



カラオケを歌う菊田勲さん

散歩道

古墳の主は誰？

10月から11月にかけて、山辺の道、佐保路、飛鳥、二上山など山に囲まれた大和の地を歩

いた▼大和は古墳だらけで、御陵とされている以外にも有名無名の古墳が点在している▼飛鳥の観光案内所で、「牽牛子塚古墳・越塚御門古墳」を勧められた。江戸時代から古墳と認識されており、明日香村による2009年以降の発掘調査で、八角形の形や2つの墓室が並んでいること、更にもう一つ脇に墓室があることから、日本書紀に記載されている天智天皇の母の齊明天皇と妹の間人皇女の合葬墓で、脇の墓室は妃で早世した大田皇女の墓と推定されるといふ▼しかし、宮内庁が所管する齊明天皇陵は別にあり、この古墳は正式には齊明天皇の御陵と認められない、と案内してくれた係員は無念そうであった▼御陵は調査できないので、実際は誰が葬られているのかは明らかではない。もしや居心地の悪い思いをしている被葬者もいるのではと、古墳の側を歩きながら思った。

(中野みどり)

*お知らせ…こだま会は毎週火曜日、10時～16時に開所しています。第5火曜日は閉所しています。



頭と身体を使って神経伝達を活発に 石川健康体操で楽しくトレーニング

桜井 るみ

考えて、動いて、 健康トレーニング

12月8日に第3回健康教室「石川健康体操の実技と交流」が、神奈川県民センターで行われました。講師は昨年引き続き新日本スポーツ連盟神奈川県連盟会長の石川正士さんでした。

8人の参加者でしたが、「考えて、動いて、健康トレーニング」のテーマでの2時間の教室は、あつという間に時間が過ぎ、楽しく体を動かすことができました。



体だけでなく頭も使って

私はもともと運動が大好きでしたので、どのような運動があるのか興味があり、参加しました。やはり体だけでなく、頭と身体の方を使い、神経伝達を活発にするトレーニングだということが痛いほど分かりました。

やりすぎはマイナスに

今、続けているウォーキングと水泳は、未永くやっていこうと思いましたが、

そして私たちの体は適度に使うと発達するが使わなければ退化し、使い過ぎると障害を起こすという基本原則も学びました。やり過ぎはマイナスになることも改めて自覚しました。

運動の重要さを知った

元気を維持するには「運動」は大切です。年をとると心身が虚弱になりフレイルになり筋肉量の低下が心配です。認知症になったり癌にもなったりすると本で学びました。でも運動すれば予防してくれることも学び、運動の重要さを知り、最も優れているスクワット等にも精を出しています。

願わくはいつまでもピンピンコロンで過していければいいなと思っております。

どんな障がいがあっても

安心して豊かに暮らせる地域をめざして

松尾悦行(これからの県立施設を考える会)

集いに70人が参加

元県庁福祉職に元民間施設の有志が加わった活動も7年ですが、11月27日に県議会へ再度の陳情をした後、12月10日に第5回目となる集いをウイリング横浜(上大岡)で行いました。県立施設に対するマスコミを含めた批判が続いているので、シンポジスト調整も難航しましたが、特別支援学校高等部、障害児施設、地域のグループホームや民間施設、発達障害支援機関、中井やまゆり園分会から計6人に依頼でき、参加者もオンラインを含め約70人で開催できました。

信頼回復と

地道な協同の活動を

その一端は12月12日の神奈川県新聞でも紹介されましたが、まだ課題が山積している実態の認識が共有され、13日にはこの議論も含めて県知事宛てに要請書を提出しました。

県立施設の問題を県と交渉する際には、ご家族や地域の民間福祉関係団体の方々との連携が欠かせません。虐待疑惑で薄れてしまった県民の信頼を回復し、期待や要望を受けとめ地道に協同する活動が並行しなければ、組合員の要求を実現する展望も開けません。組合内に籠ってはいけません。何も始まらない。

現役職員を外から応援するためにも、できることを続けたいと思っています。

地域福祉基盤は十分に整備されているか
今回は、入所施設の定員縮小や役割機能の転換、県立施設の民間移譲や地方独立行政法人化の議論が先行する中で、その前提となるべき県内の地域福祉基盤が十分に整備されているのかに焦点を絞りました。



こだま俳壇 (12月句会)

冬の陽に部屋の奥まで覗かれる
白井保次郎
雑魚寝して足の陣取り置炬燵
小室 豊子
木枯に追われてくぐる縄暖簾
友井 眞言
農の句を詠みし友逝く霜降月
松尾佐知子
過疎の村落葉の上にまた落葉
角田 英昭
毎日が炬燵の人になりけり
高橋 和江
動員の氷雨に追われ還らざる
田中 一男
冬の星句会先達の死を悼む
島田多嘉子
姉妹して父に叱られ炬燵に入る
並木まり子
木枯や寅さん佐渡に宿を取る
瀧澤 正行
凧とともにラーメン屋に入る
中野みどり
猫も子も場所取り合いの炬燵かな
常世田芳子
歳時記に亡母の拾いし落葉あり
中村 桂子
極月や後ろへ投げる楯円球
坂 守
炬燵入り小粒の蜜柑超甘し
後藤 貞夫
鉢の磯菊陽差しを浴びて咲き始め
柳瀬 節子
七ならべ皆集まりし炬燵かな
大塚 敏高
木枯の吹きすさびけり長屋門
本山 文子
切炬燵はや足げんか兄妹
木村 武子
花札の散らかっている炬燵かな
講師 太田土男先生

人権輝く高齢期をめざして

運動をすすめてよう

第36回日本高齢者大会in東京



中嶋ひとみ

11月13日、文京シビックホールで第36回日本高齢者大会が1360名他オンライン参加者の下、開催されました。

戦争しない日本を100年先まで

中央実行委員長で全日本年金者組合中央執行委員長の杉沢隆宣さんから開会挨拶があり、「地球上のあらゆる戦争をやめろ！世界の軍事費や大金持ちたちの交遊費を地球の再生や世界の子供たちへ拠出させよう！65歳になったら健康で文化的な生活ができる年金を保障しろ！戦争しない日本を100年先まで続けましょう」等の呼び掛けに、気持ちが高揚しました。

記念講演は非戦の安全保障論

記念講演は元防衛官僚・内閣官房副長官補、国際地政学研究所理事長

運動を広げ、根付かせていくという東京大会の3つの今日的意義が語られ、私たちの命と暮らしを守る政治が必要！人権輝く高齢期をめざして運動を進めようと訴えがありました。

前進座の歌と踊り 大会アピールと特別決議

合間には艶やかな前進座の歌と踊りが披露され、分科会の報告後「希望ある優しい長寿社会にするために全国津々浦々で奮闘しましょう」という大会アピールと「ガザでのジェノサイドは許さない。イスラエルは攻撃を中止し、即時停戦せよ」という特別決議が拍手で採択されました。

の柳沢協二さんによる「戦争しない国であり続けられるために―非戦の安全保障論―」でした。抑止力一辺倒の世論が大勢をなしてきているが、戦争回避外交が不在だ。戦争は相互作用で拡大するもので、台湾有事に米国が加われば中国と日本の戦争になる。日本は戦争の条件を欠く国ゆえに大国間戦争に巻き込まれない巧みな外交が求められる。現状維持と安心供与が大事。戦争は政治の選択。政治は国民の選択だという内容でした。

命と暮らしを守る 政治が必要

中央実行委員会事務局長の畑中久明さんからは①戦争する国への大転換と社会保障の解体が進む下で、高齢者が多世代と手を結び憲法の平和的生存権を生かす社会への運動を広げる②日本高齢者人権宣言を学び、闘いに活かす③全国で地域に高齢期





炭焼き小屋前で

明け方迄降っていた雨は嘘の様な青空に代わり眩しい陽射しにワクワクが止まらない。町田駅改札口に集まったのは総勢14名、バスに乗り込み、後部座席でワイワイ、大人の遠足は止まらない。車窓の里山へと移り行く景色に期待は更に高まる。

天気好転 期待高まる

あり、八王子街道の宿場町として大山詣で行きかう人々で賑わい、明治時代には地域行政の中心的役割を果たしていたとのことだった。

てくテクの会

名残の秋を満喫



晩秋の里山歩きに参加して

門松真由美

歴史が古い 小野路周辺の里山

師走半ばの13日、町田駅からバスで約30分、多摩丘陵の原風景を残す小野路周辺の里山を散策した。小野路の歴史は古く、江戸時代には東海道と甲州街道を結ぶ脇往還で

奈良梅谷戸の田畑の再生 富士山も顔見世

スタートの扇橋バス停に到着。いよいよ里山歩きの始まり。まずは奈良梅谷戸。丘陵が浸食され谷状に広がる地形を生かした田畑の再生が、市民に支えられて進められている。草刈り、整備する多くの人に出会った。

自然と戯れた小野路城址

さらには、小野路城址へと向かう。なだらかな斜面に広がる橙、薄茶、黄、時々赤、枯れても美しいフカフカの絨毯、サクサク、カサカサ靴音も心地良い。たくさんのお栗、大きな朴葉をお面に見立てはしゃぐ大人、綺麗な楓を見つけ手に取る。名

最大の難所 関谷の切通し

今回のコース約4km最大の難所、関谷の切通し。かの近藤勇も通ったとか。桜や竹は、土を削られ剥き出しの根を四方に這わせ、己を支えている。何とも逞しい。

里山交流館で疲れを癒す

小野路宿の旅籠「角屋」を改修した里山交流館で疲れを癒し、帰路に着いた。



関谷の切通し

歴史教室 北条氏関連・鎌倉散策パートV

歴史の裏舞台に感動

倉野修



一杉雄二さんの解説を聞く(大仏坂切通し)

10月19日、歴史教室に参加しました。参加者は17名で、唱歌「かまくら」の歌詞♪極楽寺坂越え行けば長谷観音の堂近く 露座の大仏おわします♪の歌詞そのままに、北条氏にまつわる鎌倉を代表する寺社を巡りました。江ノ電「極楽寺」駅に集合し、一杉雄二さん(副代表幹事)の解説で、秋晴れの中散策しました。

▼民衆救済を行った極楽寺
極楽寺駅から極楽寺坂を歩いて極楽寺へ向かいます。この坂は、新田義貞の鎌倉攻めの突破口になったそうです。鎌倉七口の一つに数えられる極楽寺切通しは、忍性が千二百六

十七年に開削し、当時はここ一帯が地獄谷と呼ばれていたところに、社会福祉事業のように療病、施薬、子や老人の施設、寺院等を設置し、民衆救済を行ったというところで、極楽寺の印象が大きく変わりました。

▼鎌倉攻めで全焼した成就院
極楽寺を後にして、成就院に着きました。切通しの一番高い丘の上にあります。由比ガ浜が絵画のように良く見えました。

成就院は真言宗で、弘法大師が虚空蔵求聞持法を行った護摩壇跡に北条泰時が創建したそうですが、鎌倉攻めの時に海岸線から攻め込まれてこの峠でも大激戦になり全焼し、現在は江戸中期に復興した本堂があります。

▼神秘的な星の井
その後、坂を下って行き鎌倉十井の一つの「星の井」を見学。

昔、この井戸の中に昼間でも星の影が見えたそう。奈良時代に行基が井戸から出た光輝く石を虚空蔵菩薩の化身として井のそばにお堂を建てたそうです。しかし、近くに住む女中が菜刀を誤って落としてから星が見えなくなったということでも神秘的な井戸でした。

▼アニメの聖地、御霊神社
次に最近ではアニメの聖地としても有名な御霊神社へ。

権五郎神社とも言われ、源頼朝の鎌倉入りより前から、関東平氏五氏(鎌倉、梶原、大庭、長尾、村岡)の祖先の霊がまつられ、その後平安時代に後三年の役で活躍した権五郎景政がまつられています。

▼きらびやかな観音菩薩の長谷寺
御霊小路を通って山門に大きな赤い提灯のある長谷寺に着きました。長谷寺は天平八年(七百三十六年)創建とされる、浄土宗のお寺です。観音堂の本尊の十一面観音菩薩像は、薄暗いお堂の奥の、立派なきらびやかな仏様で、とにかく大きさに圧倒されました。

▼鎌倉大仏で名高い高德院



鎌倉大仏

次に向かったのは、鎌倉大仏として名高い高德院です。ご本尊で国宝の青銅鑄造の阿彌陀如来座像が露座しています。高さが仏像だけで十一メートル以上あり、重量は百二十トンです。建立当時は木造仏。今は露座ですが、「吾妻鏡」には、大仏堂の建立についての記載がありました。

▼野性味溢れる大仏坂切通し

最後にバスで火の見下バス停まで移動し「大仏坂切通し」の踏破です。鎌倉七口の一つで、江戸時代には

藤沢宿から鎌倉への通路として活用されたそうですが、バス停から山道に入り、すぐに切岸が現れ、野性味溢れる切通しが出現しました。岩肌には苔むした大きな岩肌が連なり、壁のような切通しがしばらく続きます。

切通しの所々には大きな「置き石」が。一杉さんの解説によると、軍勢が攻めてきたときに、障害物となるように置いたものだそうです。

▼地ビールで疲れを癒し

切通しを通過すると、源氏山ハイキングコースへ合流して県道藤沢鎌倉線へと長い階段を下りました。階段の下には丁度、地ビールをふるまうレストランが。有志の参加者で、おいしいビールで疲れを癒して帰りました。

今回で3回目の参加でしたが、一杉さん解説の歴史散策は、歴史の裏舞台の解説もあり、興味深く、またの企画を楽しみにしています。



大仏坂切通しを下りる

※最近外出する時、特に駅等の階段を下るとき転ぶ様で、いよいよ杖が必要な時期に来たかと思うこの頃です。「転ばぬ先の杖」との例もありますね。 小林平治(藤沢市)

※俳句「秋深く真白きコスモス空に 冴え」 山野澄子(海老名市)

※いつもいろいろなお知らせがありありがとうございます。旧友の方のご活躍、とても嬉しいです。 藤原慎一(相模原市)

※暦では立冬を過ぎていますのに「小春日和」のような暖かさが感じられますが、何かもの足りなさを感じます。「平和」です。世界の…。 榎田富久子(横浜市)

※大掃除。やり残して気になつて片付けましょう。秋の「てくてくの会」ではお世話になりました。

コロナで休止していた合唱や、街の歴史探訪歩きが再開して忙しい日々になりました。こだま会報で、皆さんの作品や活動、お名前を見るだけでハッピーになりますね。

追伸…ずいぶん前の号でしたが、鳩に悩んでいた方がいらつしやいましたが、私の撃退法をお知らせします。私も色々苦労しましたが、ロー



会員の広場

ズ・ゼラニウムの鉢を置くだけです。鳩は、バラの棘は嫌いらしく、ローズの匂いが嫌いだそうです。本場のバラは開花期しか効果ありませんが、ローズ・ゼラニウムの葉の匂いで年中効果があるということだそうです。一度お試しください。

高木みどり(横浜市)

※11月15日付けこだま会報142号で小林さんが投稿された「太陽光発電でCO₂削減…」を興味深く読みました。柏崎刈羽原発から50キロ圏内にある当地で活動する「なくそう原発」の会の講演会で、市内で再生エネルギー設備の普及に取り組む電気屋さんと千曲川を挟んだ対岸の村に夫婦で移住してきて、水と電気それに煮炊きも自然エネルギーと再生可能エネルギーで生活している方の話を聞いたこともあったからです。我が家も再生エネルギー装置の設置を検討したいと思えます。

山本秀実(長野県飯山市)

※今回のパズルの問題、よこのカギ6、首相が〇〇を表明の〇〇はジイ(辞意)か?と、ちよつと早くフライングではと思いきや、パーティー

【8面に続く】

クロスワードパズルで頭の体操

◇応募要領◇

- ①ヒント：2重枠に入った文字をAからEの順に並べてできることばは?
- ②回答送付先：〒231-8588 横浜市中区日本大通1 県庁舎地下1階神奈川県職労連退職者こだま会パズル係
- ③郵便葉書に答、住所、郵便番号、氏名を記入し、3月15日までに上記②へお送りください。メールも可。
- ④賞品：正解者から抽選で5人の方にクオカード進呈します。
- ⑤発表：次号(5月15日号)

前回の答「オオソウジ」

オ	ア	シ	ス	ウ
オ	セ	チ	ジ	イ
ハ	ゴ	キ	ル	
バ	サル	サ	ミ	コ
	ツ	ン	ド	ラ
ソ	ボ		リ	ボン

●当選おめでとう●

抽選で5人の方にクオカードを進呈します。カードの発送を持って発表にかえさせていただきます。

答

	A	B	C	D	E
1				3	4
2	A				D
5	E		6		
7		8			
			B	9	
10	11		12		
13			C	14	

係から：回答はがきの余白に、本紙についての感想や要望、身近かな話題などひとこと。「会員の広場」欄などに掲載させていただく場合があります。匿名の場合は「匿名希望」とご記入ください。

- たてのカギ
- 1 ストライキは〇〇〇〇〇〇
- 2 の権利
- 3 災害に前もって食料など確保しておく
- 4 角のある重量級の動物
- 5 日ごろ備えせず、あわてて間に合わせる
- 6 役に立つこと、貢献する
- 7 ノーベル平和〇〇〇
- 8 まわりは敵兵、〇〇〇楚歌
- 9 大阪城の近く、〇〇川
- よこのカギ
- 1 寒〇〇、〇〇大根煮
- 2 ホテルの玄関・広間
- 3 荒海や〇〇によこたう天の川
- 4 福は〇〇鬼は外
- 5 交通信号機、真中の色
- 6 図書館で借りてきて
- 7 アイロンで〇〇のばし
- 8 将棋八大タイトル戦の食事
- 9 旅人の泊まる場所
- 10 状況をみて、〇〇〇〇
- 11 応変に
- 12

回答はEメールでもOK kaiho@kodamakai.sakura.ne.jp こだま会報パズル係
FAXでもOK 045 (212) 3178 こだま会報パズル係

ガザ市民虐殺をやめろ!

ー11・17イスラエル大使館抗議デモー
川城 保幸

テレビに映し出されるガザ市民の流血の惨事。何か行動しなければの思いから、11月17日の「戦争させない・9条壊すな!総がかり行動」によるイスラエル大使館抗議デモに参加した。こだま会からは5人が参加し、大勢の外国人と一緒に“ストップ ジェノサイド!” “ドント アタックガザ!” など英語でのシュプレヒコールを行った。

大使館は、路地を入ったところであり、警備のため近づくことができず、やや歯がゆい感じではあったが抗議の声は届いたと思う。

今回のイスラエルによるガザ攻撃は、ハマスの奇襲攻撃や人質の拉致等に端を発しているとは言え、パレスチナとイスラエルの問題には、イスラエルがパレスチナ人の土地を侵奪し、「天井のない監獄」と言われるガザの街に220万人もの人々を押し込め、その他の占領地域でも裁判も無く一方的に「行政拘禁」を行うイスラエルの非人道的政策がある。

かつて、ホロコーストと呼ばれる民族虐殺の被害者だったユダヤ人が、今度は逆にパレスチナ人を虐げていることに、改めて歴史を学ぶことの意義を感じざるを得ない。

◇こだま会報No.142では、「てくてくの会草津方面バスツアーに参加して」の記事が印象に残りました。県の無らい運動で、患者を隔離・排除するという今では考えられない施策があったことを知り歴史の流れを感じました。まだまだ小さな事でも差別や偏見はあると思います。自分がどう行動するか問われているようです。こだま会報は政治、社会、歴史、様々な記事を取り上げていただ

(7面会員のひろばの続き)
券の裏金疑惑で閣僚の辞任や更迭で現実味を帯びている。
統一教会との癒着、今回の裏金問題など、政府与党の自民党には自浄作用はなくなってしまう。まさにシロアリに芯まで食い荒らされた巨木のように、この政党にはもはや国民の前に綺麗な花を咲かせることはできないのではと思っている。
佐藤栄一 (静岡県富士宮市)

予告!! 予告!! 予告!!

- 19日国会行動 (毎月)
と き: 3月19日 (火) 18時30分~
4月19日 (金) 18時30分~
5月19日 (日) 14時~
集合場所: JR新橋駅S L広場
集合時間: 17時30分 (5月は13時)
- てく・テクの会 (散策)
と き: 3月27日 (水)
テ - マ: 津久井・城山の桜 (お花見)
集 合: 10時 JR橋本駅改札口
申 込 先: こだま会事務局 (チラシ参照)
- 歴史教室 (散策)
と き: 4月13日 (土)
テ - マ: 豊臣秀吉の一夜城と小田原城を歩く
集 合: 9時50分 JR小田原駅改札口
- 俳句サークル「こだま句会」
月例会: 毎月第2木曜日13時~16時
と ころ: 県庁本庁舎地下1階県労連会議室
講 師: 太田土男先生 (俳人協会)
会 費: 800円
申 込 先: こだま会事務局
☎ (045) 212-3179
- こだま会第40回定期総会
と き: 6月21日 (金) 10時30分~12時30分
と ころ: 神奈川県立地球市民かながわプラザ (あーずぶらざ) 1階会議室

き、入会して良かったと、つくづく思います。 石田啓子 (横浜市)

けるようリハビリに励んでいます。 湯川勉 (二宮町)
◇毎回楽しみに読ませて頂いております。知人の名前を見つけるとニコリします。 蒲原洋子 (三浦市)

投稿をお寄せください!

会員の皆様からの投稿をお待ちしています。身の回りで気が付いたことなどなんでもかまいません。「こだま会報」の紙面をみんなで作っていきましょう。絵手紙、絵画などの作品もお寄せください。投稿やパズルの回答は下記の新しいアドレスへどうぞ。
kaiho@kodamakai.sakura.ne.jp

絵手紙・フォト俳句



奥津弘久さんの作品



高橋和江さんの作品



加藤武久さんのフォト俳句

* 投稿やパズルの応募は、新しいメールアドレスができました。kaiho@kodamakai.sakura.ne.jpへ送って下さい。